

1 教科 国語

2 単元名 むらやま新聞をつくろう

3 単元の目標

- 相手にわかるようにゆっくり話したり、場所に依じて聞こえる音量で話したりする。
- 大事なことを聞き落とさないように、メモに取ったり聞き返している。
- 伝えたいことを考え、書く内容を整理し、わかりやすく組み立てて書いている。

4 単元について

(1) 児童の実態

むらやま1は4年生男子1名、6年生女子1名の計2名の学級である。むらやま1教室では、主に国語と算数、自立活動、生活単元の学習をおこなっている。国語においては、4年男子は、朗読が得意である。叙情豊かにリズム良く朗読することができる。話すことについては、何かについて話し合うことはまだ難しいが、書かれたことを読むことはできる。既習の漢字はほとんど読むことができる。聞くことについては、相手の質問に対しおうむ返しで返答することが多かったが、質問に添う答えを返すことが少しずつできるようになってきている。6年女子は、漢字練習が好きで字を丁寧に書いている。話すことについては、漢字の読みができれば文章全体をとらえて読むことができる。普段の話す音量は聞き取れるが、クラス全体の前で発表する時は、声が小さくなり聞き取りづらくなる。また、自分の考えを出して話すということは、まだ難しい。聞くことについては、大体は理解できているが、時々話題とは別の内容になって話していることがある。

(2) 教材について

新聞を作るということで、次の点について教育的効果が期待できる。

まず1つ目は、むらやまでの学習は個人学習になりやすい。特に国語や算数においては、教室外に出て学習するということはあまりない。新聞に載せる記事を収集するためには、教室から外に出なければならない。普段と違った学習意欲が生まれるであろう。

2つ目は、相手とのコミュニケーションが必要である、ということである。今回は、授業中ということで校内の教務の先生を中心に質問するように設定した。その人についてよく知るという目的もあり、むらやまの児童が知りたい質問を中に入れて質問項目を設定している。相手にわかりやすく質問するということで、話すことに対して慣れる経験になるであろう。

3つ目は、質問に対しての答えをよく聞かなければ記事は書けない。相手の話をよく聞くことで聞く力が育つであろう。また、ただ聞くだけでなく、相手の答えに共感して相づちを打つなど指導していきたい。

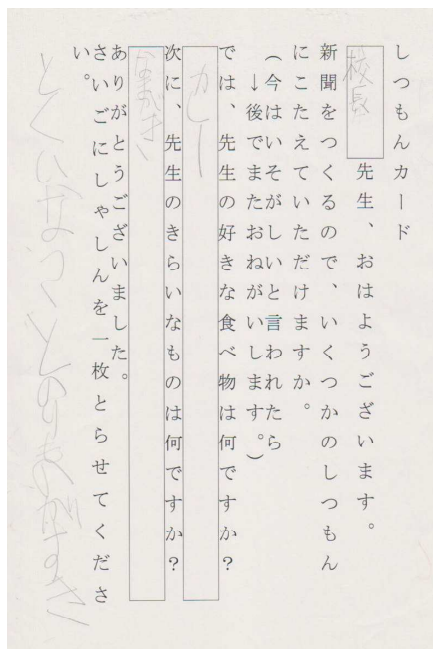
4つ目は、文章の構成を考えて、見る人がわかりやすい文を書かなければならないということである。

5 指導計画

次・時	学 習 活 動
1	○「むらやま新聞」を作ることを知る。
1	・校内の先生に質問して記事を作ることを知る。
2	・先生方に聞きたいことをまとめる。
2	・質問カードを作り、質問→答え→メモの練習をする。
2	○先生方に取材する。
3	・質問カードを見て質問し、答えをメモする。

4	・ 2人1組で質問する人とカメラマンを仕事分担する。
3	○取材メモをもとにして、原稿を書く。
5	・ 下書きをして校正し、清書する。
6	・ 記事をまとめて新聞とする。編集後記として作った感想を書く。

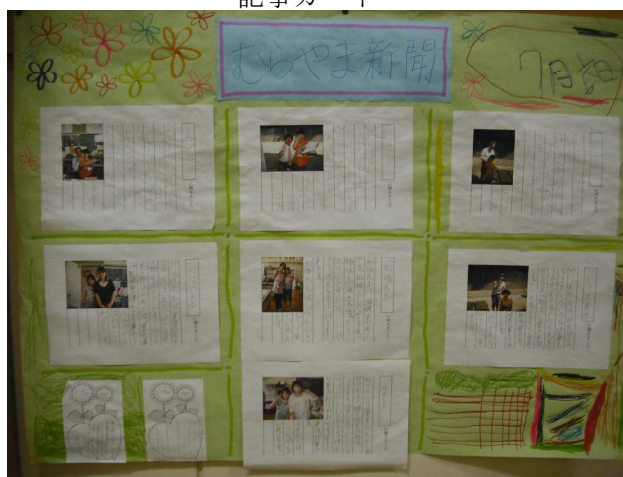
6 参考資料



質問カード



記事カード



むらやま新聞

7 成果と課題

- 普段接している先生でも、知らないことは多い。先生と仲良くなりしたい、話したいという気持ちは2人の児童は持っているの
- で、学習意欲は十分にあった。担任との質問の練習も意欲的に行っていた。これがきっかけで、親しくしたい人と話すことができるようになれば良いと思う。
- 質問を形式的にすることで児童にとっては言いやすかった。普段でも、自分の言いたいことを相手にわかるように言うことが難しいので、基本的な言い方を学習することは、自分の気持ちを表出することに有効であると思われる。
- 相手の答えに対してうなずきや同意を表すことは、相手の話を聞いてますよと言うサインになる。声かけをして練習時にもできるように練習した。本番では、答えに対して「○○なんですね。」などと言葉かけができていた時もあり、それによって、相手も答えやすい雰囲気をつくることができた。
- 記事を集めていく中で、もっと聞きたいという気持ちが児童の中に出てきた。また、質問カードに書かれていないことを質問するということができた。質問形式に慣れ、相手との会話に余裕が出てきた結果、質問するということが自分のものになってきたと思われる。
- 生活の中でわからないことがあれば、周りの人に聞くという状況はたくさんある。今回行った場面だけでなく、多くの場面設定をして慣れさせ、児童自身が聞きたい→聞くという意欲を持ち行動に移すことができるように支援していかなければならないと考える。